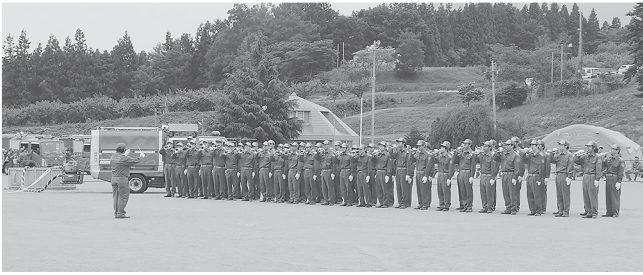


第1回 中野市消防団 総合技術大会



●市政一般質問

36件

決議	1件	可決
意見書案	1件	修正可決
人事案	1件	選挙
事件案	3件	可決
予算案	3件	可決
条例案	3件	可決

●議案件数及び議決内容

開会	6月2日
閉会	6月20日
会期	19日間

6月定例会



遊休荒廃農地について

町田 博文

質問 統合準備委員会の中
間報告を行う考えは。

答弁 それぞれの専門部会
の進捗状況が異なるため、
考えていない。統合準備委
員会の検討状況等について
は、その都度、公式ホーム
ページや広報なかのを通じ
てお知らせする。

地域おこし協力隊について

質問 新規に募集する地域
おこし協力隊員の募集条件
は。

答弁 平成30年度から農業
振興に取り組む隊員を増員
する。現在、募集条件の細
部を詰めている。
質問 新規隊員の活動内容
は。

答弁 遊休荒廃農地の再生、
地域活動への参加、情報発
信、就農のための農業研修、
資格取得等を考えており、
就農し定住することを期待
している。

**橋りょう等の安全確保につ
いて**

質問 交通の安全確保のた

め、折橋及び柳沢古牧線の
嵩上げ等が必要ではないか。
答弁 折橋については、上
部工の一部の修繕工事を実
施した。下部工にも損傷が
見られることから、引き続
き修繕工事を行う。橋りよ
う及び道路の嵩上げについ
ては、県が整備を進めてい
る新古牧橋のルート案が今
年度中に示される予定であ

る。新ルート案が示された
段階で橋りょう及び道路の
整備を研究していく。
その他の質問

中野市政策研究所について

**屋内ゲートボール場につい
て**

の実施状況はどうか。

答弁 今年度から土砂災害
防災訓練において、地域住
民と一体となった訓練を計
画しており、重点地区の区
長等と検討を開始したとこ
ろである。

質問 「中野市公共施設最
適化計画」で、機能は移転
し、建物は取り壊すものと
されている。具体的な計画
はどうか。

答弁 代替施設として、豊
田温泉公園の屋内ゲート
ボール場と中野市内運動
場を考えている。

その他の質問

**肝炎ウイルス検診及び胃が
んリスク検診について**
産後うつ予防対策について
自殺予防対策について
就学援助の拡充について

質問 草刈り等の管理はし
ているが耕作されていない
遊休農地も把握する必要が
あるのではないか。

答弁 東日本大震災の経験
から生まれた災害対応型紙
コップ式自動販売機は、お
湯を無料で提供できるため
赤ちゃんと粉ミルクを与え
る際やアルファ米の調理等
において大きなメリットが
ある。お湯確保のための災
害協定を検討してはどうか。

質問 今年度から農福連携
事業がスタートした。障が
い者雇用の促進という面か
らみて画期的なことである
と同時に、遊休荒廃農地解
消という側面からみても画
期的といえる。なぜなら、
これまで農業を営んでいな

質問 現在、民間企業等と
締結している協定により、
ウォーターサーバ等を確保
し対応したいと考えている。

質問 平成27年12月に策定
された「中野市まち・ひ
と・しごと創生総合戦略」
における遊休荒廃農地面積
は、平成26年度は456 haであ
り、平成31年度の目標値を
451 haとしている。一方、平
成28年度調査結果での当該
面積は569 haであった。それ
ぞれの数値の整合性はど
うか。

答弁 平成28年度の調査面
積が、より実態に近い面積
であるので、目標値を改め
て定めていく。

質問 いざという時のため
に、地域住民を主体とした
訓練が必要と考えるが、そ



中野市における 農福連携事業について

小林 忠一

質問 農福連携事業における農業、障がい者自立支援及び農産物の販売等に対する

具体的な支援策は。 **答弁** 有識者、事業所、福祉及び農業関係者のほか、

市の関係部署からなる支援組織を立ち上げ、事業開始後も経過を見守り、支援を続けていく。 **質問** 事業開始時及び開始後における障がい者の自立支援に対するフォロー体制は。 **答弁** 相談支援専門員が定期的に支援会議等を開催し

継続的に支援する。 **質問** 農福連携事業で栽培する農産物及び耕作面積は。 **答弁** 今年度は玉ねぎやズッキーニを栽培する。耕作面積は約3haを予定しており、遊休荒廃農地の活用にも大きく貢献するものと考えている。



山林・原野化した 耕作放棄地について

保科 政次

質問 耕作放棄地の現状は。 **答弁** 農業委員会が実施した平成28年利用状況調査の

結果によると面積は569haである。そのうち、山林・原野化しており再生利用が

困難と見込まれる農地の面積は322haであり、今後、農業委員会において、非農地判定が進められる。 **質問** 非農地と判定された農地を農振農用地区域から除外してはどうか。 **答弁** 農業委員会及び関係機関と協議のうえ、慎重に検討していく。

質問 山林・原野化した耕作放棄地に対する今後の取り組みは。 **答弁** 耕作放棄地を見極め、生産性の向上が見込まれる農地は農振農用地として守り、耕作農地及び再生可能な農地は、荒廃農地対策をしっかりと講じていく。



学校統合について

松野 繁男

質問 豊田地域統合準備委員会の専門部会において、豊田中学校への統合小学校の開設について、「統合小

学校は豊田中学校に設置するのか」、「豊田中学に決定なのか」との意見が出されている。統合に向けて基本

的な議論が足りていないと考えるが、今後どのように進めていくのか。 **答弁** 既に小学校統合に関する基本方針は決定しており、統合小学校の位置は基本方針のとおりである。また、現在、統合準備委員会から、学校施設の配置等を検討しているが、ご理解を

いただく努力をし、進めていきたい。 **質問** 豊田中学校の校舎は築45年が経過し老朽化が目立つが、今後の対応は。 **答弁** 補強、改修工事を行い、維持管理を計画的に行っていく。 **質問** 豊田中学校に小学校と中学校を併設するが、10年後はどのような姿を思い

描いているのか。小中一貫校という選択肢もあるのか。 **答弁** 当面、豊田中学校は生徒数が80人から90人程度で推移し、統合後の小学校は、複式学級にはならないと推測する。より良い教育のため先進地の視察等を行う。小中一貫校については研究を進めていく。

ふるさと寄附金について

質問 総務省は、過熱気味のふるさと寄附金の返礼率を寄附額の3割程度に抑えるよう通達を出した。中野市も返礼率が3割を超えているが、その対応は。

答弁 国から指摘のあった返礼品については、来年から3割以下に見直す。

中野市における築堤事業について

質問 築堤事業の進捗状況と今後の見通しは。国等への要望活動の状況は。

答弁 本市における築堤工事は、ほぼ完了している。北信地域千曲川等改修促進期成同盟会の要望事項には、本年度から新たに上今井の左岸及び右岸の築堤工事を

追加編入し、早期の整備促進を国等の関係機関に要望していく。

公共交通の利便性向上について

質問 路線バス利用者、特に高齢の利用者から、バス停の位置の見直し、増設等の利便性の向上を望む声があるが、その対応は。

答弁 乗降調査や利用者アンケートを実施するほか、様々な機会を捉えて市民の声をお聴きし、利便性の向上を図っていく。

答弁 ドローンの活用は、火災及び各種災害現場での情報収集に有益と考える。今後、他市の状況を参考に活用方法を研究する。

火災・災害現場の対応について

質問 消火活動等にドローン（無人航空機）を導入してはどうか。

子どもの貧困と子ども食堂について

芦澤 孝幸

質問 市内における母子・父子世帯数及びひとり親世帯の子どもの人数は。

答弁 平成28年度末現在、母子世帯は492世帯、父子世帯は65世帯である。県の平成28年度調査によると、ひとり親世帯の子どもの人数は、母子世帯で71人、父子世帯で114人である。

質問 市内に子ども食堂を運営する個人または団体はあるか。

答弁 市内で子ども食堂を運営する個人や団体は把握していないが、開設に向けた相談を受けている。

質問 子ども食堂の開設に対する支援は。

答弁 場所や食材の提供の紹介等、活動が継続して行えるよう、できる限り支援をしたい。

質問 子ども食堂を市が直接運営する考えは。

答弁 子ども食堂は貧困等の様々な事情で食事が十分にできない、または一人で

食事をしている子どもに食事と団らんを提供するものである。同時に地域のつながりや地域全体の発展につながる活動であってほしいと考える。継続的に運営できるためには、行政主導でなく、地域の中から発意があり、実現されるのが望ましいと考えており、現在、市が直接運営することは考えていない。

有害鳥獣対策について

質問 新規銃猟者支援事業補助金の利用状況は。

答弁 平成28年度は、1人に補助金を交付している。

質問 猟友会の会員数等の状況は。

答弁 今年度の猟友会会員数は30人であり、前年度より3人減少している。年齢構成は、40歳未満の方が3人、40歳から59歳までの方が5人、60歳以上の方が22人で、平均年齢は61・8歳である。

質問 猟友会の会員確保への支援は。

答弁 会員数は、現在減少傾向にあるが、最近増加している住宅地への害獣の出没対応における猟友会の担う役割は非常に大きい。市では、射撃講習会への補助や有害鳥獣対策に係る出役等に対し、JA等とも連携して支援を行っている。今後も猟友会と協力し、会員確保に努めたい。

質問 新規銃猟者支援事業補助金を拡大する考えは。

答弁 まずは現在の補助制度の周知に努め、利用促進を図りたい。

ふるさと寄附金について

その他の質問

(注) 新規銃猟者支援事業補助金 中野市では、有害鳥獣の捕獲従事者を育成し、鳥獣による農林業等の被害を防止するため、新たに銃猟免許及び銃砲の所持の許可を受ける方に対して補助金を交付しています。制度の詳細、補助金の申請等は、市役所農政課へお問い合わせください。



北陸新幹線高丘トンネル工事等に伴う家屋への影響について

青木 豊一

質問 家屋等への影響及び補償の実態を把握しているのか。

答弁 高丘トンネル工事に当り、事前調査が行われ、工事開始後、井戸の湧水及び家屋被害の報告があった。鉄道建設・運輸施設整備支援機構によると、これらの被害については、トンネル工事完了後の地盤が安定した時点で再度調査をし、個人ごとに協議をしたうえで、補償契約を結び、補償は平成27年に全て終了したとのことである。

質問 地方紙に、新幹線工事被害に対して責任ある対応を求めるとの投稿が寄せられている。この投稿の内容に対する見解は。

答弁 新幹線の運行に起因する被害が新たに発生した場合、機構において対応していた。

質問 市は、現地の状況を把握しているのか。

答弁 新聞報道の後、現地調査を行い、家屋等に影響を受けた方と話し合いを行った。

質問 今後、新たな被害が生じた場合には、どのような対応を行うのか。

答弁 新幹線の運行に起因する被害が新たに発生した場合には、機構において対応を行う。また、市において相談を受けた場合には、地元の対策委員会と連携を図り、機構に話を伝えていく。

市長の政治姿勢について

質問 オスプレイの訓練飛行に対する見解は。

答弁 住民生活への影響を懸念している。県等を通じて国に安全確保を求めたい。

質問 「核兵器禁止条約」の草案に対する見解は。

答弁 唯一の被爆国である日本として、制定交渉に参加すべきと考える。

質問 「共謀罪」法案への見解は。

答弁 国会において慎重な審議をしていただきたい。

新入学児童生徒学用品費の増額と入学前支給について

質問 要保護者及び準要保護者に対し、入学前支給を実施すべきでは。

答弁 今年度から入学前支給を実施するべく準備を進めている。

質問 新たに補助対象者となる方への対応は。

答弁 年度途中であっても随時、受付・審査・判定を行っている。

福祉医療費窓口無料化について

質問 子ども・障がい者（児）への窓口無料化を積極的に行うべきではないか。

答弁 子ども及び障がい児に対する窓口無料化については、県内の全市町村で平成30年8月の実施を目指している。障がい者への対応については、県及び県医師会の動向を注視していく。

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案3件、予算案2件、事件案1件について、6月2日及び6月15日に審査しました。

主なものは、条例案では、中野市市税条例の一部を改正する条例案で、地方税法の改正に伴い、児童福祉法に基づく家庭的保育事業等

または緑地保全・緑化推進法人が設置等する市民緑地の用に供する固定資産の課税標準の特例（わがまち特例）に係る軽減割合を規定

するため、所要の改正を行うもので、原案どおり可決されました。予算案では、平成29年度中野市一般会計補正予算

（第2号）について、補正総額1億3千480万1千円を増額するもので、補正後の予算総額は25億5千315万4千円となるもの。歳入では、



国庫支出金435万1千円の増額、県支出金1億570万5千円の増額など。歳出のうち消防費では、消防施設整備事業補助金200万円の増額等であり、原案どおり可決さ

れました。

事件案では、財産（建物）の無償譲渡について、就労継続支援A型事業の運営に供するため、株式会社アルビスファーム信州なか

のへ旧中野市帯の瀬農産物加工施設を無償譲渡するものであり、原案どおり可決されました。

そのほかの条例案2件及び予算案1件については、

いずれも原案どおり可決されました。

意見書案については、内容について必要な修正を加え、修正可決されました。

民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された予算案3件について、6月2日及び6月15日に審査しました。

主なものは、平成29年度中野市一般会計補正予算（第1号）、歳出のうち民生費の自立支援事業費について、農福連携事業の実施

に伴い、株式会社アルビスファーム信州なかのが就労

継続支援A型事業所として使用する旧中野市帯の瀬農産物加工施設の施設整備に對する支援として、435万3千円を増額するものであり、原案どおり可決されました。

平成29年度中野市一般会計補正予算（第2号）、歳出のうち民生費の母子生活

支援施設入所援護委託措置費について、母子世帯が母子生活支援施設へ入所したことに伴う委託措置費を769万6千円増額したものであり、原案どおり可決されま

した。

そのほかの予算案1件については、原案どおり可決されました。



経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された予算案1件、事件案2件について、6月15日に審査しました。

主なものは、予算案では、

平成29年度中野市一般会計補正予算（第2号）、歳出のうち農林水産業費では、

産地パワーアップ事業費について、シャインマスカット

トの長期間出荷が可能となる冷蔵庫リース等に対する

支援のため9千795万9千円の増額、農道整備事業費については、農道整備に必要

となる舗装用材料を支給するため738万円を増額するものなどであり、原案どおり

可決されました。そのほかの事件案2件に

ついては、いずれも原案どおり可決されました。

■意見書

(可決された意見書)

(関係行政庁に提出)

いわゆる「テロ等準備罪」を新設する「組織犯罪処罰法」改正法案の慎重審議を求める意見書

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を3年後に控え、テロ対策は重要課題の一つである。

テロ行為を防止するためには、国際社会と緊密に連携することが必要不可欠であり、こうした協力体制を構築するうえで、「国際的な組織犯罪の防止に関する国際連合条約」を締結することは極めて重要であり、その対応を図る法整備については、一定の理解を示すものである。

しかしながら、政府が、今国会において改正を目指す、いわゆる「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ「テロ等準備罪」を新設する「組織犯罪処罰法」改正法案は、過去3度にわたり国会に提出され、国民の強い反対によっていずれも廃案となっ

た、いわゆる共謀罪法案に類似している。

この改正法案は、犯罪が行われていない段階においても、2人以上の者が犯罪を「計画」し、「準備」したと捜査機関が判断すれば処罰の対象となり得るものであり、これは「既遂の処罰」を原則とした日本の現行刑法体系の大原則を覆すことにつながりかねない。

また、公権力が個人のプライバシーに踏み入り、内心の自由や言論・表現の自由を侵す恐れが大きく、また、権限の拡大により捜査対象となる者の適用範囲等が恣意的に運用される余地があること等から、審議が十分尽くされたとは言えない状況である。

よって、中野市議会は、国に対し、改正法案の審議においては、国民の意見を踏まえ、幅広い観点から慎重に検討することを強く要望するものである。



■決議

金子高幸議員に対する議員辞職勧告決議

我々中野市議会議員は、議員として市民から負託を受けた立場と職責を十分認識し、法令、条例を遵守し、良識をもって市民の模範となるよう行動しなければならぬ。

とりわけ、男女共同参画社会基本法の理念に照らし、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」の実現に向けて、我々市議会議員が率先して高度の倫理性と高潔性を備え、自覚ある振る舞いをしなければならぬ。

しかしながら、金子高幸議員は、平成26年5月7日、自ら所属していた市議会任意会派懇親会の席上、酔余、当時来賓として出席

していた女性職員に対して、その手を握り、肩を組む・背中から腰部をさする等の行為に及び、これを目撃した同席者からの注意にもかかわらず、しばらくの間これら行為を継続するなどした。また、同年12月12日、懇親会の席上、酔余、同席した女性職員のでん部を手で触るなどの行為に及んだ。

当該女性職員から、当該行為が「セクハラ」であった旨の表明がされるに至っていること、当該行為が女性を著しく侮辱する行為であり、周囲に明らかに不快な思いを与える点において極めて不謹慎な行為であると言わざるを得ない。

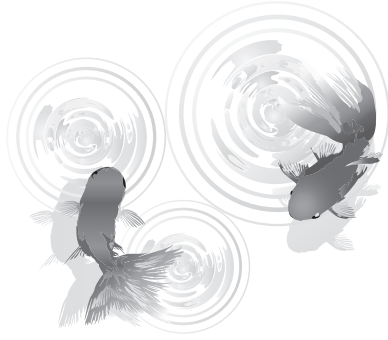
また、金子高幸議員が女性議員の家族に対して謝罪していること、相手方の女性議員からの被害申告に信用性に欠けるところがないことから、金子高幸議員が女性議員のでん部を手で触る行為に及んだこと、少なくとも女性議員が嫌がらせであると感じたことは明らかである。

なお、金子高幸議員は、平成26年12月24日、所属の市議会任意会派からの処分

がなされた際には、格別の反論は行わなかったが、その後も従前と同様に宴席に出席し、自らの各行為を否定する発言を行うなど、およそ反省・悔悟している者の行動とは思われない振る舞いを継続している。

また、平成27年3月市議会定例会から平成29年3月市議会定例会まで、9回にわたり当該会において議員辞職勧告決議が可決されたにもかかわらず、金子高幸議員が市議会議員の職を辞することはなく、誠意ある態度も取られていない。

なお、当該女性職員が行った刑事告訴に関して、金子高幸議員が書類送検された後、不起訴処分がなされたことと報道されているが、当該女性職員は審査手続きを申し立てているとのことである上、仮に金子高幸議員の各行為が刑事処罰を加えられるものではないとしても、それらの各行為が女性を辱め、周囲に明らかに不快感を与える極めて不謹慎な行為であるとの評価自体は何ら変わるものではなく、平成29年3月市議会定例会にも改めて議員辞職勧告決議が可決されている。



金子高幸議員のこれらの行動は、良識ある行動を取らなければならぬ市議会議員としてあるまじき行為であり、市民の信頼を裏切り、中野市議会の名誉を著しく傷つけるもので、断じて許すことはできない。

よって、中野市議会は、金子高幸議員に自らの良識と判断において、速やかに市議会議員の職を辞するよう強く求めることを決議する。

5月臨時会

会期 5月10日 1日間

○議案件数及び議決内容

条例案 4件 承認

- ・中野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

- ・中野市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

- ・中野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

- ・中野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

人事案 3件 同意

- ・中野市教育委員会教育長の任命の同意について

- ・中野市教育委員会委員の任命の同意について

- ・中野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について

ご覧ください

議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。

インターネット録画中継は、パソコンをお持ちの方は、いつでも本会議の様態を視聴することができます。

是非、ご覧ください。



中野市議会議会中継

検索

●視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス（パソコンのみ閲覧可能です。）

●中野市議会ホームページ

<http://www.city.nakano.nagano.jp/gikai/>

●配信している議会中継

平成27年9月市議会定例会分～

●配信時期

定例会・臨時会終了後、約2週間後に配信します。



市議会を
傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。

市政を知る良い機会です。みなさん議会傍聴にお出かけください。

なお、日程は議会事務局へお問い合わせいただるか、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。

次の市議会定例会は9月です。

表紙の写真

第1回中野市消防団総合技術大会

6月18日、中野市営豊田野球場で「第1回中野市消防団総合技術大会」が開催されました。

この大会は、これまでの中野市消防団ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会で行われてきた基本訓練に加え、近年、頻発する大規模災害および複雑多様化する各種災害に対応するために、各種応用訓練を取り入れ、名称も新たに第1回大会として開催されたものです。

消防団員の方々は、応用ポンプ操法、応急救護訓練、救助訓練、ラッパ吹奏に日頃の訓練成果をいかに発揮していました。



▲開会式



▲応急救護訓練



▲救助訓練



第4代後期

議会だより

編集委員名簿

(順不同)

委員長	松野 繁男
副委員長	原澤 年秋
委員	荻澤 孝幸
〃	堀内 臣夫
〃	宇塚 千晶
〃	保科 政次
〃	青木 正道
〃	阿部 光則
〃	永沢 清生
〃	町田 博文

あとがき

今年も5月27日から6月11日までの間、「信州なかのバラまつり」が開催されました。今年の来園者は、昨年比で約6千人増加し、4万4千人を超えました。

来園者増加の大きな要因は、このバラまつりのため、多くの方々が、一年を通してバラの手入れをされ、見事に咲き誇ったバラの存在があったからではないでしょうか。

関係者の皆様のご努力に敬意を表したいと思います。

これからも、多くの方々に親しまれる素晴らしいバラまつりであってほしいと願っています。

梅雨明けの時期となり、中野市では桃の出荷が始まる季節となりました。果物好きの皆さんのほころぶ顔が目に浮かびます。

これから秋にかけて、様々な果物が旬を迎え、「果物王国中野」の本領発揮の時期となります。

多くの皆さんに味わって頂きたいものです。